

キラリ通信

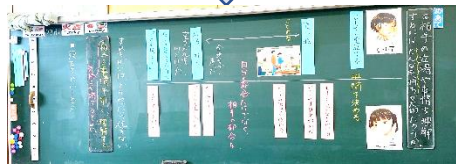
西原小学校は「自己を見つめ、他者の心に気づき、高め合う子どもの育成」を目指し、子ども達の「心の教育」をテーマに研究をしています。キラリ通信第4号では、5年生の取組を紹介します。

5年生 道徳 主題名「相手の立場も大切に」 教材名「すれちがい」

主人公は、友達とピアノ教室に行く約束をするが、時間はあとで決めることにし、あいまいなまま時は進んでいく。お互いに、連絡を取ろうとするが、電話がつながらなかったり、お使いを頼まれたりしてなかなか互いの動きがわからないまま勝手に公園で待つなどしてしまう。連絡が取れなかった訳や電話が繋がらなかったなどの理由があるにも関わらず、互いに相手が悪いと思い込んでしまう二人。最後は、ピアノ教室で気まずい思いをすることになり、冷たい態度をとってしまう二人。・・・という内容である。

どうしたらよかったのだろうか。

グループでの交流



すれ違う様子が分かる構造的な板書



えり子さんとよし子さんは、どうしたらよかったのだろうか。

「電話連絡をもう一度したらよかったんじゃない。」「勝手に公園に行かなければ」などお互いの考えを交流します。

授業後「気づき・なるほど・もっと」の観点で振り返りを行います。

子どもの振り返りから

- ・ これからは、しっかり話したい。
- ・ 連絡が取れなくても相手の気持ちや都合を考えてあげることが大事。
- ・ 自分の気持ち優先ではなく事情を聞く。

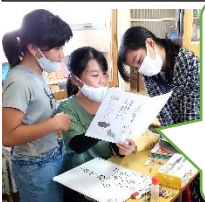
子どもたちは感想や振り返りで、自分の考えや成長を再認識し、より実践につなげられるようになっていきます。事後指導では、いろいろな場面で実践化につながるように意識付けをしていきます。

普段の学習で

宿泊学習で

協力って大事だね。

下学年への読み聞かせで



お互いの意見をよく聞き合おう。



楽しんでもらえようように分かちあおう。

このように、道徳の学習で深まった考えが、子どもたちの行動に見られるようになると実践化につながると考えます。そのためにも、ぜひ御家庭でも道徳や「心の教育」について話題にしてみてください。

切り取り

西原小学校の「心の教育」について御理解いただけたでしょうか。御感想をお寄せ頂けるとありがたいです。(12/23 〆切)

() 年 () 組 名前 ()